



第34回 日本母乳哺育学会 教育委員会主催勉強会

日 時 : 2026年2月11日 (水・祝)
10時00分～14時45分 (25分休憩を含む)

会 場 : オンライン開催のみ

申し込み : URL <https://peatix.com/event/4740610>

詳細は右の二次元コードを読み込んでください。

参加費 : 会 員 1000円
非会員 8000円

申し込みは
こちらから



事前に日本母乳哺育学会に入会いただけますと勉強会に会員としてご参加いただけます。
年に2回、皆さんの日々の活動にお役に立てるような勉強会を企画してまいります。ぜひ事前の学会への入会をお願いいたします。 日本母乳哺育学会への入会はこちらから → <https://jsbr1986.org/admission/>

テーマ : 父親への育児支援

現在、父親の育児休業取得率が上昇傾向にあります。これは、育児・介護休業法の改正により、①新たに「産後パパ育休制度（出生時育児休業）」が創設されたこと、②本人または配偶者の妊娠・出産等を申し出た労働者に対して、事業主は育児休業制度等に関する周知と休業の取得意向の確認を、個別に行わなければならないことが影響していると考えます。産後育児を開始する時期において、妻の心身の支えとなる夫の存在は大きく、父親役割の獲得にも良い影響を及ぼしているのではないでしょう。

しかし、臨床の現場からは、「父親の育児参加について課題があるのではないか」などの意見が多く聞かれました（教育委員会主催勉強会アンケートより）。そこで、今回の勉強会では父親の育児参加とは何か、国の目指す方向性などを共通認識し、実際の支援について考える機会としたいと企画しました。皆様と活発な意見交換できればと思っております。ご参加、お待ちしております。

開会の辞

10時00分～10時10分

◎午前の部 10時10分～12時00分

「父親のサポートがカギを握るおっぱいの経済学」

10時10分～10時55分

一橋大学経済研究所 白井 恵美子 氏

「動物行動学からみた父親による子の世話」

10時55分～11時40分

東京大学名誉教授/独立行政法人大学改革支援・学位授与機構参与 長谷川 寿一 氏

質疑応答

11時40分～12時00分

午後の部 12時25分～14時30分

【シンポジウム「産後の母親を支える父親の役割と父親への育児支援」】

「男性の育児休業取得の現状と育児休業取得促進に向けた取組」 12時25分～12時45分

厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課 課長補佐 有瀧 悟史 氏

「実際に育児休業を取得した父親の意見」

12時45分～12時55分

「家族で支える母乳育児：父親主体の育児参加を促す産前・産後支援」 12時55分～13時15分

助産院はぐはぐ 院長 森木 由美子 氏

「ペアクラスによる妊娠期からの父親トレーニングの実践」

13時15分～13時35分

黒川産婦人科医院 佐々木 千昭 氏

「父親の育児休業と母乳育児の関連 -文献的考察-」

13時35分～13時50分

東京都立病院機構 東京都立荏原病院 小児科 滝 元宏 氏

総合討論

13時50分～14時40分

閉会の辞 次回勉強会開催のご案内

14時40分～14時45分